

○議長（作元 義文君） 午後は1時から開会します。

午前11時51分休憩

午後0時58分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） それでは、通告に従いまして、市政一般について質問を行います。

まず、1点目ですが、自衛隊誘致の増強についてお尋ねをいたします。

昨年5月の改選前、対馬市議会においては、平成19年6月定例会において、自衛隊誘致増強調査特別委員会を設置し、対馬の陸海空、それぞれ増強の提案書を作成、その根拠は、全国レベルの自衛隊幹部OB、その他島内有識者の意見を含め、約1年半に及ぶ調査期間を経て、昨年1月29日、東京市ヶ谷の防衛省へ計画に伴う要望書の提出と同時に、市長とともに力強くこのことをお願いしたのは記憶に新しいところであります。

昨年、改選後の対馬市議会では、自衛隊増強については、国境離島活性化対策特別委員会に対応するとのことでありますが、今のところ特別な活動はないと思われまます。市長は今年中、このことについて特別な行動計画がありましたならば、伺いたいと存じます。

次に、美津島町緒方地区から要望書の提出がっております。このことについて市長に御意見を伺いたいと存じます。

当地区の基幹産業の衰退する中、何とか地元の利点を生かし、経済の浮揚を図ろうとするものでございますが、戦後遺産であります姫神砲台跡地の周辺の整備及び道路の整備を含め、観光立地を確立するために、水産加工品の開発と、販売事業の促進を一体に行い、集落に活気を取り戻したいとのことであります。

旧美津島町時代、当集落から緒方地区の半島全域に及ぶ土地に、ゴルフ場18ホール、100人収容のリゾートホテル、これらの建設計画がございました。資本投資においても、JRを巻き込んだ内容であったことを記憶しております。しかし、この計画は長い間、月日を要したことはございましたが、国定公園の中でのゴルフ場建設は認可ができないとの国の方針が示され、とうとう断念したことが結末でありました。このたびの件につきましては、特に地区内の豊玉真珠の4月倒産により、臨時雇用を含め約20人が職を失ったことは、集落にとって大きな打撃でございます。それを受けての御相談だと推測致します。

市長は、このことをどのように受け、また、要望書に対してどのように現段階で応じることを考えておられるか伺いたいと存じます。

以上でございます。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 大浦議員の御質問にお答えさせていただきます。

1点目の、自衛隊誘致増強活動についてのお尋ねでございますが、この要請活動につきまして、国境離島活性化対策特別委員会で十分に研究、協議がなされ、国への要請活動が必要であると判断された場合、前回同様に議会とともに要請活動を行いたいと考えております。

要請活動については、中期防衛力整備計画の策定に当たり、国が情報収集を行った時期にあわせ、一昨年8月と昨年1月に、市と自衛隊誘致増強調査特別委員会とで行いましたが、8月31日の新聞報道によりますと、防衛省は年末に策定される防衛計画の大綱で、九州南西諸島の離島防衛を強化する狙いで離島防衛強化を打ち出す方針であるとのことで、このことは市と市議会合同の要請活動の成果であるというふうに考えております。今後も必要に応じて要請活動は行ってまいりたいと考えておりますので、国境離島活性化特別委員会での調査、研究を進めていただきたいと思っております。

次に、2点目の、緒方地区の件でございます。去る8月30日に、緒方地区の区長名及び同地区実行組合長名の連名で、22年度の地域要望として、同地区を観光と水産業を一体とした地区として活性化を図るためという内容での3項目の御要望がございました。具体的には、同地域の財産でございます姫神砲台跡地を包含した地域活性化ということで、観光客を地区に呼び込むような仕組みづくりの提案と、私は解釈をさせていただきました。また、同地区の地域マネージャーにおいては、水産物加工施設を建設し、観光と整合性を持った地域おこしが提案されていたところでございます。そのような状況の中で、既にアクションもあっております。具体的には、真珠養殖の廃業で失業された同地区の主婦5名が主体となって、加工品関係で起業したいとのことで御相談がございました。その熱意が通じ、本年度の新規ビジネス事業に団体名対馬姫神として地域との連携による水産物の加工品づくりを提案され、採択に至っております。私は常々、熱意とやる気、行動力のある地区については、支援を惜しまないことを伝えておりますが、特にこれまでの行政依存体質からの脱却を目指されている地域や団体には、自主・自立に帰結されるようお願いもしております。これからもこの方針に揺るぎはございません。

次に、砲台跡周辺の整備についてであります。

今年度の予定としては、姫神砲台跡の活用について、道路整備事業として緒方から姫神砲台跡入口までの路線延長約1.5キロのうち、入口から地区方向へ舗装工100メートルを予定しております。また、道路敷や砲台跡地の除伐等について、地域の承諾はいただいておりますが、国定公園法など国や県との協議が必要であり、これらが完了次第に景観を確保するなどの作業を予定をいたしております。

また、観光面におきましては、3月の一般質問でもお答えしましたとおり、島内に30数カ所

あります全ての砲台跡を活用することは困難ではありますが、幹線道路に隣接したものを優先し、必要な事前調査を行い、工法や歴史的特徴を有する物について保存に向けた取り組みを行う予定にしております。

さらに、島内30数カ所存在するこの砲台跡の知名度を上げるために、次の機会に作成する観光パンフに表示することも計画をいたしております。在庫がなくなり次第に作業を行うよう指示をいたしております。姫神砲台跡は、特に保存状態も良好で、戦史や歴史関係の愛好者はもとより、トレッキング愛好者にとっても絶好のコースだと存じます。今観光ガイドの会やんこもなどでも、姫神砲台跡もコースに取り込んだ学習会等が計画されているとのこと。一朝一夕に観光地としての造成は難しい面もございますが、隗より始めよとの例えもございます。しっかり取り組んでいきたいと思っております。

ところで、体験型観光というものが最近着地型観光と呼ばれておりますが、今回の緒方地区が一つのモデルとなるような施策として、地域の協力を得つつ地域マネージャーと連携した取り組みを実施したいと考えておりますので、御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。

○議長（作元 義文君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） まず、自衛隊のことから確認していきたいんですが、昨年1月の29日に要望書の提出と、その強いお願いに行き、事務次官、高幹部をもって、そして国会議員4名の御縁があり、そういう勢いもあって、私はかなり期待ができるという判断がございましたが、8月の衆議院選挙の中で自民党が大敗して民主党政権になった、そして、21年度内にこの防衛大綱、この作成、策定、それから中期防衛整備計画の策定、これを行うことを断念し、本年度にそれを持ってくるという空白を1年つくったわけがございます。で、一番心配しておるのは、当時の自民党体制の中で、対馬地区が非常にいろいろな意味で国防のいわゆる対応を結集する必要があるという判断をされて、総理大臣以下、官房長官以下、対馬地区の国防について国会答弁で前向きに検討する約束するような言葉を新聞等で確認しております。で、私が一番市長にこの一般質問で申し上げたかったことは、民主党政権下の中で事情は変わったと思っております。ただし、防衛省の中での見解は、機運は私はあると思っておりますが、なにしろ一般会計予算をこれほど圧縮してくる中で、事情は変わってくるものと思われま。

そこで、話なんですが、この中規模の整備計画に必ず対馬の1もしくは3部隊の増強ということが盛り込まれない限り、例え国境離島の国交省の予算は並行していかないと。いわゆる防衛省の中で兵を拡大するあるいは戦力を増すということが、中規模でございますから、この中規模の計画に、必ずや対馬地区がという言葉が残る必要があると、これが一つの判断だそうでございます。それで、この12月に今年度両方とも計画を策定するという情報を得ております。それで、最後の対応として、今年度過ぎた10月までの上旬が、一つの陳情等を受ける最後のチャンスで

あろうということを、私は情報で確認をとりました。そこらにおいて、新しい政権の中で、私はもう一回、市長、私は対馬の意思を、民主党政権下の中でもう1回最後のお願いとして、みずから出て行っていただきたいという思いで、一般質問のこの場に立っております。その件について、市長いかがでしょうか。あなたのお気持ちを、私の今の言葉の中で、どういうふうにとらえるか、お願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） この中規模の話につきましては、私どもの力が及ばないところでほぼ大枠は決まるのかなというふうに思ってます。しかし、一昨年から行動した結果として、今回の8月末の報道のような結果が出てきたのかなというふうにも思っております。データによりますと、自衛隊の隊員の総枠といいますか、これについては16年度から21年度を比較しますと、約9,000人ほど減をしているというデータが出ております。定員を減らす中で、どのように国防を戦略的にやっていくかという方向を今見つけ出そうということでも取り組んであるんだろうなというふうに思っております。

で、私どもの気持ちというのは、防衛省のほうに昨年の1月の末にお伺いしたときに、当時の増田事務次官も十分に聞いていただいたと思っておりますし、その後の申し送りもされているというふうには、思っております。で、今、今年度末に策定される中規模の、まあお願いをする、実情を伝えるのは、10月初旬が最後のタイミングじゃないのかというふうなお話でしたが、私もそこまでは、そういうお話は仕入れておりませんでしたけども、今のようなお話も含め、国境離島活性化対策特別委員会において、その辺りのお話もまたまとめていただければというふうにも思います。

○議長（作元 義文君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） ぜひともそのような方向でお願いをしたいと私は思っております。

それと、ことしの7月、参議院選挙の中で山谷えり子、まあ当時候補が対馬入りしたわけですが、まあそのころは候補であります、山谷先生のほうからこういう提言がございました。昨年の6月の段階で、最終的に対馬地区の国防防衛強化ということについては、完全なその増強の方向で絵はもう描けて、既にそういう方向で決まっておったということ、皆さんの前でおっしゃいましたが、これはあくまでも自民党の一つの方向づけでございまして、一体とした防衛省の確約、約束というのは、私は民主党の政権の中では、またそうにはならない、そうではなかろうと、これだけ一般会計が足りないという中で、国防予算を増やすということは、逆になかろうというふうな中で、私はそういうふうな解釈は難しかろうと思う中で、最後の5年に一遍ですから、この5年に一遍のチャンスにことなきとなれば、5年後しかありません。そのことを強く防衛省関

係の皆様は口をそろえておっしゃっておりますので、何としてもそういう行動にとっていただきたいという、私は思いをいたします。そのことで、先ほどの市長の答弁どおり、まあ国境離島の特別委員会とあわせて、相談のうえ、対応したいということに、この場を借りましてさらに、再度お願いをしたいと、こういうことで自衛隊問題は閉じたいと思います。

それと、緒方地区のことで、まあこのことを、議長のほうからもこのことを部落の陳情の応援だけのことではいかんということをおっしゃっております。実は美津島町時代に、松村町長時代の中で、これは大船越のゴルフ場もあったんですが、これを別において、緒方のほうでゴルフ場を18ホールつくろうという構想が実際ございました。そして、それは、村上げてのことでございました。ところが、先ほど申し上げますように、国定公園2種、3種内にゴルフ場の建設は相ならんという環境省の最終的な方向付けで全て断念しました。当時、JRを巻き込んだ構想で資本を投資する、ここまで行い、100人程度の雇用がこの場で生まれるだろうというふうな積算までされておりました。そのようなことで、当地区が産業基盤がガタガタになったと、最近の中で、先ほど言いますように、真珠の雇用が100%なくなり、20人弱の失業者が出たということでございます。で、当地区のこの一部ですが、145名、42世帯の人口規模でございます。現在、145人は水産業の従事が13人、会社勤めが25人、失業者が16人、子供が22人、老人と専業主婦、これが69人でございます。先ほど市長のほうから申し上げました、5人の方々が真珠産業倒産の中で、水産業加工にその事業種を選択されて頑張っておる。こういうことも、私も現場を見て痛感いたしました。

で、きょうは、私はこの地区の復興については、村の意志がまとまってあるならば、市としてもいろいろ国の事業施策を、あるいは県の事業施策を講じて、モデル的な対応をしていただきたいと、じっくり時間をかけて、このような思いで質問に立ったわけですが、先ほど市長の答弁では、まさにそのようなことをおっしゃいましたので、私の思いは半分そのことがなくなったように思います。

それで、私も10年前にあの姫神砲台の跡地は町議会議員の立場で見ました。そして、10年ぶりにその場所を最近参りました。この市道というふうな管理の中で、非常に、現在道は使えない状況であります。で、ここらを少し今後は改めていただいて、市道の延長で整備をするという答弁でございましたが、このことについてもっと全体的な計画と、幅員含めてどの程度の整備をするのか、ちょっと市長、もしそれがわからなければ建設部長でも結構ですが、もう少し細かく聞きたいんですけど。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 姫神砲台に至る約1.5キロの市道の改修計画についてお尋ねがあったと思いますが、実際私もあの1.5キロを行きましたけれども、確かに狭く、そしてスイッチバ

ックしないといけないような道路がなっております。単純に車がカーブで曲がれないような道ですよね。で、あれが3カ所か4カ所あるかと思います。で、勾配も、傾斜も大変きつうございますああいう中で、実際、市道基準にのっとった道路ができるんだらうかなというふうな思いもあります。ある意味、車で行くというよりも、先ほど申しあげましたように、トレッキングなどが今の観光における主流でもあります。そういう面も含めた市道改修ということもあるんじゃないかと。どう見てもあの道を4メートルとか、幅員ですね、仮に最低の4メートルとかにするのも、大変難しいんじゃないかというふうな思いに至っております。

○議長（作元 義文君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 観光地までの道のりに対する交通手段は、ある程度中型バスまではいきませんが、マイクロバス程度が、10人乗りが走れる程度、これが最低私は将来的には考えにやいかんと思うんですが、もちろん、今の現段階でそういうことを言えるようなことなのかというのは別としまして、少し時間をかけられて、市長、あれだけの自然という一つの風光明媚な武器があります。そしてもう一つは、三浦湾というこの港、湾の活用も含めて、私は一体的なことを幅広く描けるような感じがいたします。どうでしょうか、そのモデル事業というふうな考えの中で、時間をとって、やはり将来的にいろいろな角度で研究されてこれに取り組むというふうなことで、私はきょうの場合、具体的なことを掘り下げていくべきではないと、こういうことがあります。気持ちですが、もう少し時間をかけられてあそこの絵を、市と村と一体に描き直す、描き上げるというふうなことでいかがでしょうか、もう少し。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） まさに今、大浦議員がおっしゃってあるような方向というのが、こちらが地域マネージャー制度で描いてほしいものがございます。で、地区単位ではなくて、校区単位で物事を決めていってほしいというのも、そこにあります。で、今緒方地区には地域マネージャーのほうも積極的に入っているというふうな報告も受けておりますので、大船越校区としてのマネージャーの地域活性化計画等を私は楽しみに待とうかなというふうに思っております。

○議長（作元 義文君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 私は一つの、何と言いますか、行政主導ではなく、集落の熱意と何をしたいというふうなことが今回あっておりますので、これよくよくまたお互いが勉強されて、そして深いそのことを考えられて、そしてその成功に導くようなことに、ぜひともモデル的なことでやっていただきたいと、これを期待いたします。

で、自衛隊については、くれぐれも、今までのことが非常に途中段階では可能性がございました。最後の詰めですから、私は中規模のことにどうしても載るためには、この10月までの間に民主党政権の中に切りこんでいただきたいと、そしてまた、防衛省に一つ確認をするうえにおい

ても、最後の今年度の行動として、ぜひともその行動をとっていただきたいと、このようなことに私の発言を終わります、一般質問を終わりたいと思います。

以上で終わります。

○議長（作元 義文君） 以上で、16番、大浦孝司君の質問を終わります。

.....

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。40分から始めます。

午後1時27分休憩

.....

午後1時44分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、1番、脇本啓喜君。

○議員（1番 脇本 啓喜君） こんにちは。1番議員、会派協働の脇本啓喜でございます。

早速ですが、通告に従い以下の2点について市政一般質問を行います。

大きな1番、貿易促進に向けた取り組みについて。1、国際航路の港湾及び空港の整備指針について、現在国際航路の窓口は、海路が巖原港と比田勝港の2カ所、空路が対馬やまねこ空港の、合計3カ所となっています。巖原港には、ことし約1億円かけて専用の新ターミナルが建設されました。比田勝港は、現在の国内線ターミナルを国際線仕様へ改修する構想があると聞いています。また、空港は対馬空港ターミナルビル株式会社が、旧ターミナルビルの改修を行い、供用を開始しています。長崎新聞によると、国土交通省は全国103の重要港湾のうち、来年度以降に岸壁などの施設を集中的に整備する重点港湾として42港を選定し、本県では長崎港は選定されたが、佐世保港は選から漏れた、7月30日。また、国土交通省は、アジアのハブ港を目指し集中的に整備する国際コンテナ戦略港湾として、京浜港湾と阪神港湾の2港を選定した、8月7日、との記事が掲載され、いずれも公共事業費削減の中でも、投資先を選択と集中させることで、港湾の国際競争力を強化するのが狙いとされています。これまで、JR国際高速船による、比田勝港と釜山港定期就航化や、国際航路の比田勝港中心へとシフトさせ、島内8の字回流の形成による経済活性化案を提案してきました。比田勝港を国際窓口の中心港として選択と集中を図り、特に貿易港湾整備は距離的にも韓国に近く、比較的用地確保が容易な比田勝港を中心にすべきだと思いますが、市長の見解について答弁を求めます。

2、C I Qの拡充要望の取り組みについて。永留県議が対馬のC I Q体制充実を6月県議会で強く要望され、知事から早急に国に要望する旨の答弁をいただいております。前回の一般質問で、市長にも知事と協力してC I Q拡充へ向けて国へ働きかけるよう求めました。その後の進捗状況について答弁を求めます。